

平成 26 年度
森町地域新エネルギービジョン

平成 27 年 1 月

北海道森町

《目 次》

第1章 ビジョン策定の背景と目的	1-1
1-1. 背景	1-1
1-2. 目的	1-1
第2章 森町及び近隣自治体の地域特性	2-1
2-1. 森町地域特性	2-1
2-2. 近隣自治体地域特性	2-2
第3章 新エネルギーと地球温暖化問題	3-1
3-1. 新エネルギーとは	3-1
3-2. 新エネルギーの種類	3-3
3-3. エネルギー問題	3-23
3-4. 地球温暖化問題	3-26
3-5. 新エネルギー施策と導入目標	3-29
第4章 森町のエネルギー使用状況	4-1
4-1. エネルギー使用の考え方と調査方法	4-1
4-2. 調査結果	4-3
第5章 エネルギーの導入等に関する意識調査	5-1
5-1. 調査の概要	5-1
5-2. 町民意識調査結果	5-2
5-3. 事業所意識調査結果	5-9
第6章 エネルギーの賦存量、利用可能量等調査	6-1
6-1. 賦存量調査	6-2
6-2. 利用可能量調査	6-35
第7章 新エネルギーの導入に向けて	7-1
7-1. 導入に向けて	7-1
7-2. 重点プロジェクト	7-4
第8章 新エネルギーの導入推進体制	8-1
8-1. 基本方針	8-1
8-2. 新エネルギー導入の推進方策	8-2
■資料編	
資料編1 バイオマス賦存量及び利用可能量の全国市町村別推計 推計方法	
資料編2 中小水力発電現地調査結果	
資料編3 助成制度一覧	
資料編4 森町地域新エネルギービジョン策定委員会 委員	
資料編5 森町地域新エネルギービジョン策定委員会 議事録	
資料編6 アンケート調査票	

はじめに

私たち人類は、生活様式の発展に応じて、エネルギー利用の用途を徐々に高度化・多様化させてきました。また、エネルギー消費量も、石炭や石油・天然ガスなどの使い勝手のよいエネルギー源が普及したことで上昇の一途をたどっています。

しかし、石炭や石油・天然ガスなどの大量消費により、二酸化炭素などの温室効果ガスが発生し、地球が温暖化し自然環境が破壊されることが全世界的に問題となっています。この地球温暖化が進むことによって、干ばつや突発的な豪雨など異常気象の増加や、海水面の上昇による浸水、生態系の変化など、自然環境だけでなく私たちの生活にも深刻な影響を及ぼすと考えられており、非常に大きな問題となっています。

また、日本はエネルギー資源に乏しくそのほとんどを輸入に頼っており、エネルギーの安定的な確保は重要な課題となっています。

このような問題に対応するため、新エネルギー導入の必要性は、近年特に高まっています。また、新エネルギーは地域特性を活用したエネルギーであることから地方公共団体の果たす役割も重要視されています。

このような情勢を踏まえて、古くから地熱の里として地熱開発に取り組み、環境にやさしいまちづくりを目指す当町においても、豊富な地域資源や地域の特性を活かした新エネルギー導入の基本的方向を示すため、「森町地域新エネルギービジョン」を策定しました。

ビジョンの策定にあたりましては、学識経験者、地域住民代表、産業関係者、教育関係者、エネルギー事業者等による策定委員会で、利用可能な新エネルギー量や町内のエネルギー消費量の調査、町民アンケート調査結果などを基に審議を重ね、当町の特性に合った重点プロジェクト等を設定しました。

重点プロジェクトの実現に向けては、実施体制の整備や経済性など更に検討が必要となりますが、当ビジョンで示された方向を軸として導入に向け事業を推進して参りたいと考えています。

最後に、本ビジョン策定にあたり、ご多忙の中委員長としてご尽力下さいました北海道大学の濱田教授様をはじめとする各委員の皆様並びに関係機関の皆様、アンケートにご協力いただいた町民の皆様に対し心より感謝とお礼を申し上げます。

平成27年1月

森町長 梶谷 恵造